

科目名	ビジネススキル 5							年度	2026
英語科目名	Business skills 5							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		
【科目の目的】 社会人になるために必要なヒューマンスキルを身につけます。									
【科目の概要】 本科目では、社会人として身に付けるべきヒューマンスキルとして「コミュニケーション能力」「問題解決能力」「リーダーシップスキル」「適応力」「倫理と誠実さ」に注目し、それらの素養の向上を目的とした授業をケーススタディ方式で行います。									
【到達目標】 到達目標 A：ビジネスや日常生活において、円滑な関係構築や情報の適切な伝達のための効率的なコミュニケーションが取れるようになる。 到達目標 B：問題の原因を分析し、問題解決に向けた創造的かつ効果的な対処が出来るようになる。 到達目標 C：自己管理も含めて、目標設定や計画立案、チームメンバーのモチベーション維持などにつながるリーダーシップが取れるようになる。 到達目標 D：新しい技術や予期せぬ状況に対して、迅速かつ柔軟に状況に適応することが出来る。 到達目標 E：社会人として、組織内外での信用や信頼を築くための誠実かつ正直に行動することが出来る。									
【授業の注意点】 遅刻や欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻や欠席は成績評価に影響するため注意してください。授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	様々な状況において円滑な関係構築や情報の適切な伝達を意識した効率的なコミュニケーションが取れるようになる。		関係構築や情報伝達のためのコミュニケーションが取れるようになる。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	問題の原因を分析した上で、問題解決に向けた創造的かつ効果的な提案と対処が出来るようになる。		問題解決に向けた問題の原因を分析が出来るようになる。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	自己管理も含めた目標設定や計画立案に基づいて、チームメンバーのモチベーション維持などにつながるリーダーシップが取れるようになる。		チームメンバーのモチベーション維持などにつながるリーダーシップが取れるようになる。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 D	新しい技術や予期せぬ状況に対して、迅速かつ柔軟に状況に適応して成果を出すことができる。		新しい技術や予期せぬ状況に対して、適応することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 E	組織内外において信用や信頼を築くために倫理観を持って誠実かつ正直に行動することが出来る。		他者との信用や信頼を築くための誠実かつ正直に行動することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行う。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル5			年度	2026
英語表記		Business skills 5			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	社会人スキルについての理解	1 社会人スキルとは①	社会人スキルに含まれる機能・能力・特性の理解	2	
			2 社会人スキルとは②	具体的な社会人スキルについての理解		
			3 社会人スキルとは③	社会人スキルを身に付けることの重要性の理解		
2	授業目的に関するケーススタディ	コミュニケーション能力の理解と実践	1 コミュニケーション能力①	関係構築に関するコミュニケーションの理解	2	
			2 コミュニケーション能力②	情報伝達に関するコミュニケーションの理解		
			3 コミュニケーション能力③	問題解決に関するコミュニケーションの理解		
3	授業目的に関するケーススタディ	問題解決についての理解と実践	1 問題解決能力①	問題解決に求められる分析力の理解	2	
			2 問題解決能力②	問題解決に求められる創造性の理解		
			3 問題解決能力③	問題解決に求められる実行力の理解		
4	授業目的に関するケーススタディ	リーダーシップの理解と実践	1 リーダーシップ①	リーダーシップに必要な目標設定の理解	2	
			2 リーダーシップ②	リーダーシップとチームビルディングの理解		
			3 リーダーシップ③	リーダーシップに必要な意思決定と問題解決能力の理解		
5	授業目的に関するケーススタディ	適応力の理解と実践	1 適応力①	変化に対する柔軟な対応力の理解	2	
			2 適応力②	適応力に求められる学習と成長意欲の理解		
			3 適応力③	プラス思考とストレス管理の理解		
6	授業目的に関するケーススタディ	倫理観と誠実さについての理解と実践	1 倫理観と誠実さ①	信頼構築に関する理解	2	
			2 倫理観と誠実さ②	組織文化の形成に関する理解		
			3 倫理観と誠実さ③	持続可能な成功のポイントの理解		
7	授業目的に関するケーススタディ	コミュニケーション能力の理解と実践	1 コミュニケーション能力④	関係構築に関するコミュニケーションの理解	2	
			2 コミュニケーション能力⑤	情報伝達に関するコミュニケーションの理解		
			3 コミュニケーション能力⑥	問題解決に関するコミュニケーションの理解		
8	授業目的に関するケーススタディ	問題解決についての理解と実践	1 問題解決能力④	問題解決に求められる分析力の理解	2	
			2 問題解決能力⑤	問題解決に求められる創造性の理解		
			3 問題解決能力⑥	問題解決に求められる実行力の理解		
9	授業目的に関するケーススタディ	リーダーシップの理解と実践	1 リーダーシップ④	リーダーシップに必要な目標設定の理解	2	
			2 リーダーシップ⑤	リーダーシップとチームビルディングの理解		
			3 リーダーシップ⑥	リーダーシップに必要な意思決定と問題解決能力の理解		
10	授業目的に関するケーススタディ	適応力の理解と実践	1 適応力④	変化に対する柔軟な対応力の理解	2	
			2 適応力⑤	適応力に求められる学習と成長意欲の理解		
			3 適応力⑥	プラス思考とストレス管理の理解		
11	授業目的に関するケーススタディ	倫理観と誠実さについての理解と実践	1 倫理観と誠実さ④	信頼構築に関する理解	2	
			2 倫理観と誠実さ⑤	組織文化の形成に関する理解		
			3 倫理観と誠実さ⑥	持続可能な成功のポイントの理解		
12	授業目的に関するケーススタディ	コミュニケーション能力の理解と実践	1 コミュニケーション能力⑦	関係構築に関するコミュニケーションの理解	2	
			2 コミュニケーション能力⑧	情報伝達に関するコミュニケーションの理解		
			3 コミュニケーション能力⑨	問題解決に関するコミュニケーションの理解		
13	授業目的に関するケーススタディ	問題解決についての理解と実践	1 問題解決能力⑦	問題解決に求められる分析力の理解	2	
			2 問題解決能力⑧	問題解決に求められる創造性の理解		
			3 問題解決能力⑨	問題解決に求められる実行力の理解		
14	授業目的に関するケーススタディ	リーダーシップの理解と実践	1 リーダーシップ⑦	リーダーシップに必要な目標設定の理解	2	
			2 リーダーシップ⑧	リーダーシップとチームビルディングの理解		
			3 リーダーシップ⑨	リーダーシップに必要な意思決定と問題解決能力の理解		
15	授業目的に関するケーススタディ	適応力の理解と実践	1 適応力⑦	変化に対する柔軟な対応力の理解	2	
			2 適応力⑧	適応力に求められる学習と成長意欲の理解		
			3 適応力⑨	プラス思考とストレス管理の理解		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等